

2022年11月15日
株式会社三菱UFJ銀行

日系ベンチャー企業による大型クロスボーダーM&Aを官民一体で支援

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、SYNQA 株式会社（ブランド名 Opn、以下 Opn）との間で、米国法人 Merchant eSolutions, Inc.（以下 MerchantE）の全株式取得（以下 本買収）を目的とした、190 百万米ドルからなる融資契約を締結いたしました。

Opn は、2013 年に創業したフィンテック分野のベンチャー企業で、「Access to the digital economy for everyone（すべての人々にデジタルエコノミーへのアクセスを）」をビジョンに、日本および東南アジアでオンライン決済事業やそれらに関する金融サービス事業を展開するユニコーン企業です。

MerchantE は、1999 年に設立された決済プロセッシング事業会社で、決済プロセッシングを支えるサーバー、データベースなどのバックエンド技術を筆頭に、20 年以上にわたり米国の中規模企業や大企業の決済を支えてきた実績のあるテクノロジー企業です。米国における決済市場は急拡大しており、取扱高が 2026 年には現在の 2 倍以上となる 500 億ドル（約 7 兆円相当）にまで達すると予想されるなど、非常に有望なマーケットです。Opn は、日本および東南アジアからグローバルフィンテック企業に成長するために、本買収を行いました。

本買収を通じ、当行は本邦ユニコーン企業に対して過去最大のファイナンス支援を行います。また、本買収に際しては、当行からの融資に加えて、政府系金融機関である株式会社国際協力銀行が出資を行うなど、官民一体で支援しております。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下 MUFJ）では、自社のパーパス「世界が進むチカラになる。」を起点に、持続可能な環境・社会の実現に向けて優先的に取り組む 10 の課題を特定しており、「産業育成・イノベーション支援」を重点領域として位置づけています。MUFJ は、引続きグループ一体で成長企業領域の持続的な成長を支援し、産業の更なる発展・拡大に貢献してまいります。

以上